

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	有限要素解析法を用いた大腿骨ステム周囲骨折に対する発生や進展メカニズム及び固定様式に対する生体力学的な解析と検討（後ろ向きコホート研究、シミュレーション研究）
当院の研究責任者 (所属)	仲宗根 哲 (整形外科)
他の研究機関および各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	近年、高齢化に伴い大腿骨ステム周囲骨折を受傷する方が増加しています。本研究の目的は、有限要素解析法を用いて受傷メカニズム、骨折進展メカニズムを解明することです。また、各固定方法の適応と有用性を検討します。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2030年7月31日
調査データ(該当期間)	2016年4月～2025年3月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2016年4月～2025年3月の期間に琉球大学病院において大腿骨ステム周囲骨折の診断で入院加療を受けられた方。</p> <p>●利用する試料・情報 術前、術後1週、術後1か月、術後3か月、術後6か月、術後1年、術後1年以降の通常の観察期間で得られた以下のデータを用います。</p> <p>基本情報：患者背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、手術歴、受傷前ADL、受傷前Physical status）、骨粗鬆症治療薬、術後ADL</p> <p>疾患情報：受傷機転、疼痛、固定様式（保存、ワイヤリング、プレート/スクリュー固定術）、手術時間、出血量、離床までの日数、荷重開始時期、合併症の有無/内容（深部静脈血栓症、褥瘡、感染、再骨折、術後疼痛）、死亡率、画像評価（骨折型、骨癒合の有無、インプラント設置位置、ワイヤリングの本数、プレートやスクリュー固定の有無、スクリューの本数）、下記の画像的検査及び評価</p> <p>ADL評価：歩行能力 画像評価では、受傷前後や手術前後の単純レントゲン像とCTデータを用いて、骨折型および骨癒合の有無および固定方法を評価します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他機関に情報提供はしません。

試料・情報の二次利用	本研究で得られた情報を別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会で承認された後、研究機関の長の許可を得て実施します。
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人を特定できないよう、情報は符号化し管理します。個人情報は使用しません。また、研究結果を学会等において発表することがありますが、個人情報が特定できる情報は一切使用いたしません。得られたデータ及び、匿名化に用いた対応表は研究分担者・大槻健太が厳重に管理し、講座内の施錠できる研究室のハードディスクにデータで保存し、パスワードなしでのアクセスを不可能とします。
本研究の資金源 (利益相反)	寄付金及び、病院研究基盤経費を使用します。 本研究の実施に関しては、特別な利益相反はありません。 本研究は琉球大学利益相反審議部会に必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 琉球大学病院 整形外科 沖縄県宜野湾市字喜友名 1076 番地 研究責任者：仲宗根哲 研究分担者：大槻健太 Tel: 098-894-1416 Fax: 098-894-5284
備考	